

在リオデジャネイロ日本国総領事館
デング熱の流行について

涼しくなりデング熱の流行も終息に向かっています。しかし、5月22日現在、今年のリオデジャネイロ州内でデング熱感染者は10万人を突破し、死亡者は22人に上っています。その内、リオデジャネイロ市内の感染者は7万6千人、死亡者は19人となっています。

フラメンゴ地区に居住する在留邦人でもデング熱の感染が報告されています。感染場所は、自宅付近と見られており、リオ市南部地区においても十分な注意が必要です。

デング熱の感染の大半は屋内または住宅付近と言われているので、外出時に虫除けを使用したり、屋内に蚊が入り込まないように注意して下さい。また、植木鉢の下の水受け皿など、わずかな水でも蚊が孵化するので、身の周りになるべく水たまりを作らないようにすることが大切です。